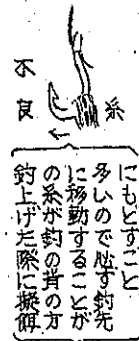


1人時間当りより低下する。なお技術は夫々多少差はあるが考慮し
なかつた。

	1人当り時間漁獲	1夜当り人数漁獲
擬餌釣	65尾 (33.2)	223尾 (297.2)
天秤釣	19.6 (100)	75尾 (100)



にむすこと、
多しので、
移動する
に釣るこ
の糸が釣
の糸が釣
釣上げた
釣上げた
釣上げた

瀬魚一本釣漁業試験

期	回	第一次	昭和30年3月29日 ~ 4月8日 (前年度報告済)
	二	〃	9月10日 ~ 9月17日
	三	〃	9月18日 ~ 9月27日
	四	〃	10月28日 ~ 11月8日

使用船 指導船5ビリ丸 (19.57 Ton 50HP) NEC 103型魚群探知機 25W無
線電信機装備

大組員	第二次	調査員	岩倉	船員	11名
	三	〃	〃	〃	10
	四	〃	山下	〃	10

氷	第二次	5 屯
	第三次	2.3 屯
	第四次	6 屯

餌料	第二次	すまかつお 30 x 700	まるぞうだ 17 x 250
	三	い か 21 x	まるぞうだ 26 x 300
	四	い か 20 x	まるぞうだ 56 x

夜高	第二次	ちびき他 121 x 950	44,762 円
	三	ほた他 116 x 500	43,458 円
	四	ほた他 262 x 700	67,598 円

経 過

航海 次第	月日	天候	気温	気圧	風向風力	波浪	雲 形	水色	水温(0m)	漁 場	月令	潮流	漁 獲	高
二 次	9 13	b	29.7C	1008 ^{mb}	SW. 2	1	1	3	27.9C	①②③④	26.3	SE行E	ちびき37尾 たらめ1 いなご3 こせご2	
	14	〃	30.1	1009	WSW. 2	1	1	3	27.7	④	27.3	表 灰 三台NE E	ちびき130 いなご55 ほた11 たらめ2 赤魚1 きんめ5	
	15	bc	29.4	1009	SW. 3	2	1	3	28.0	④ ⑤ ⑥	28.3	E線 台々、速	ちびき32 いなご28 ほた25 せつ /	
	16	〃	30.0	1010	SW 2	1	0	3	28.6	⑥ ⑦	29.3	E~SE	ざわら / いなご25 くろまつ11 しらす18 白ほた6 こせご7	
	17	b	29.4	1011	W. 1	0	0	3	27.4	⑧ ⑨ ⑩	0.9	-	しらす3	
三 次	9 21	0	27.2	1008	E. 3	2	2	3	27.4	⑪ ⑫	4.9	E~ESE	くろまつ2 ほた3	
	22	1	26.7	1007	NE 4	3	3	3	28.2	⑬ ⑭ ⑮	5.9	NE 速	あら2	
	23	1	26.3	1007	NE 4	3	3	2	28.7	⑮ ⑯	6.9	ESE~SE	ほた140 白て32	
	24	〃	28.7	1008	E. 4	4	4	2	28.8	⑰ ⑱	7.9	E~ESE	ほた240 くろまつ/ きんまつ / きほた18	
	25	〃	29.0	1006	NE 5	4	4	-	-	⑰ ⑱ ⑲	8.9	-	ほた55 つんぶり/ あがあら / くろまつ1	
四 次	10 31	0	18.7	1015	N. 4	3	2	3	22.6	⑳	15.3	NNE後速	ほた100 ちびき/ きんまつ2	
	11 1	K	19.5	1017	N. 5	4	3	3	23.2	⑲ ㉑	16.3	NE々速	ほた11	
	2	bc	21.2	1018	N. 3	2	2	2	23.8	㉑ ㉒ ㉓	17.3	W~NE後	ほた350 まっだい5 白だし ? いなご50	
	3	bc	20.6	1017	NNE 5	4	3	3	23.7	㉑ ㉒ ㉓	18.3	NE 後	ほた320 まっだい2 きんまつ5 あおまつ2	
	5	K	20.3	1015	N 3	2	1	2	22.8	〃	20.3	NE 後	ほた345 きんまつ3 きほた36 せしび / いなご80	
	6	bc	21.5	1017	N 3	2	2	2	23.0	〃	21.3	NE 後	ほた310 きほた20 あおまつ3 しらすほた5 赤あら25 いなご65	

641

幸

(第2次)

- 9月10日 2/時55分甲木野出港。餌料購入の目的で祝崎港に向う。
- 9月11日 餌料購入するも予定量に充たず。
- 9月12日 餌料計すまかつお30×700、まるどうだ17×250となり、碎氷5屯を積込む。
- 9月13日 0時祝崎出港、黒島SWスキ漁場に向う。06時15分着。水深200~240mにて操業するも好漁なし。08時鬼込なく湯瀬に向う。10時20分湯瀬着魚探作動。10時40分より100m帯附近操業。チビキ小型魚のみ。14時西新曾根に向う。17時30分より操業。潮流Eにしてチビキ(小、中型)餌付あり。漁獲物は殆んどチビキ。18時20分操業止め。19時40分漁場に錨泊。
- 9月14日 0時30分碇錨。05時50分より水深230~240mにて操業。潮流は夜層ともEにしてチビキ小型及イナゴ上る。14時頃より潮流NEとなり活発となる。附近に鰐船凡そ10隻あり。15時30分頃餌付止り17時頃より再び喰い始めるも時間なく18時45分止め。19時漁場に錨泊。
- 9月15日 05時30分碇錨。附近操業にかゝる。潮流表層はEなるも夜潮停止したものと如く漁なし。09時30分頃より夜層Eに緩く流水始め漁ほつばつあるも10時30分頃より潮流速くなり餌付全くなく大朝時沖合操業を断念。11時40分口ノ島に向う。
途中16時40分茅渟着操業するもホタテのみ。18時20分止め19時30分口ノ島碇泊。
- 9月16日 04時30分口ノ島着06時10分頃平瀬W側にてトバヒ(曳縄)にて3×位のサワラ1尾を釣る。06時20分平瀬NE方水深150mにて操業するも漁なく更に100m附近に投縄するもE~ESEの潮流速く漁なし。08時45分ホタテを目的として茅渟に向う。10時30分より操業するもしるだじ僅かに13時10分より口ノ島Wにて操業。130~140mにてクロマツ(1~2メ)11尾を釣る。16時40分頃より潮流SE速となり漁なく17時30分明日サガリ曾根方面操業予定にて口ノ島永良部に向う。
- 9月17日 04時30分口ノ島永良部着永田沖に向う。06時30分より永田沖操業するも餌付なく。サガリ曾根に向い。09時30分より操業するも潮流速く餌付なし。12時20分より夜黄島S×ク口瀬にて操業しるだじ3尾のみ。14時50分鹿兒島に向い。18日01時30分鹿兒島入港。18日水揚げ。

(第3次)

- 9月20日 積込終了23時20分鹿兒島出港
- 9月21日 07時15分竹島E着操業するも漁なし。12時30分までにクロマツ

2尾、ホタテ3尾を釣りサガリ首根に向う。13時より操業するも漁なく一
飯泊

9月22日 03時05分一漁発、安房SE沖に向う。06時40分より附近操業
するも漁全くなく09時10分より種子島大竹崎E5運附近調査、見込なく
0時40分上ノ瀬に向う。17時30分より操業に入るも潮流速く操業容易
らざるため明日西新首根調査の予定にて口永良部に向う。

9月23日 00時20分口永良部港西新首根に向う。08時40分着、潮流極めて
速く操業困難なるを予想し、09時45分小臥蛇島に向う。15時10分より
同島N方水深110~140m附近にて操業潮流ESE後にしてホタテ好漁
あり、18時頃潮流停り餌付なし。

9月24日 05時20分抜錨昨日附近操業、終日潮流ESE~Eにしてホタテ餌付
く夕刻17時30分より小臥蛇島E~S側にて操業ホタテの餌付よく、18時
20分止め、20時臥蛇島W側飯泊

9月25日 05時20分臥蛇島発、06時25分より小臥蛇島Nにて操業、ホタテ
つぼつ上るも時化もようとなり断陸操業を目的として中ノ島に向い、12時
20分よりW~S側操業するも漁なく16時55分より口ノ島Wマツダイ漁
場にて操業依然として漁なく17時50分口永良部島に向う。

9月26日 02時口永良部飯泊、台風接近のため09時25分尻尾島に向う、23
時50分入港

9月27日 水場 19時40分串木野帰港

(第5次)

10月28日 08-30 尻尾島出港 13-40 時化のため雨下を断念山川港泊

29日 08-25 山川港発

30日 17-05 徳ノ島龜津泊地入港

31日 05-00 龜津港 07-30 漁場着、水深300米の瀬の中に200
mの高瀬を枉し試魚すればホタテ餌付可成りあるも海況不良のためか魚が拘
り外れ好漁なし。その後潮流NNE後から急となりNの瓦波強く操業意の如
くならず16-00 操業止め 20-00 龜津入港

11月1日 04-30 龜津港前日の漁場に向い70尋水深の瀬を発見せんと魚探に
て調査するも発見出来ず、又他船を見ないことから此の漁場の漁期は過ぎた
のではないかと考えられ旧式どね操業の目約で09-00 古仁屋に向う。16
-50 同入港

2日 02-30 古仁屋港旧式どねに向う、08-00より操業開始、午前中
潮流Wにて漁悪きも午後NEの後となりホタテ、シロダイ可成りの漁あり、
18-30 漁場に錨泊

3日 06-00 操業開始、瓦波強きも130m附近にてホタテ餌付よし。午

・ 天候悪化し 17-40 操業ため古仁屋に向う。23-20 古仁屋入港。

11月4日 晴化古仁屋錨泊のまゝ。

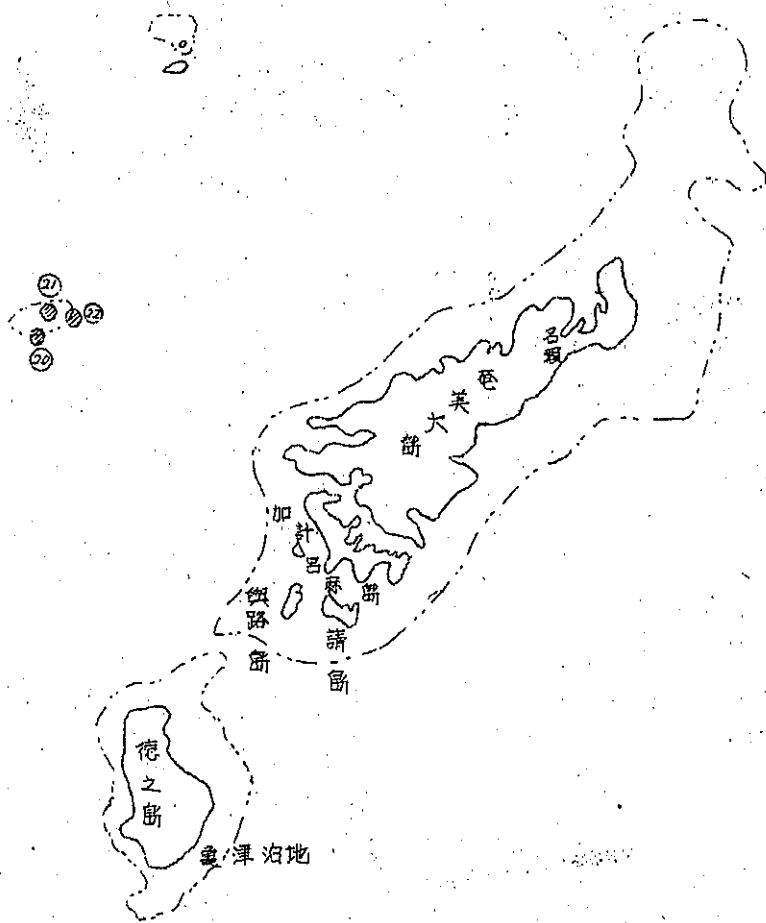
5日 02-00 古仁屋発 07-50 より旧式ぞねにて操業。風波やあるもホ
夕餌付よく 18-00 迄に 85 × 内外を釣る。18-40 漁場錨泊

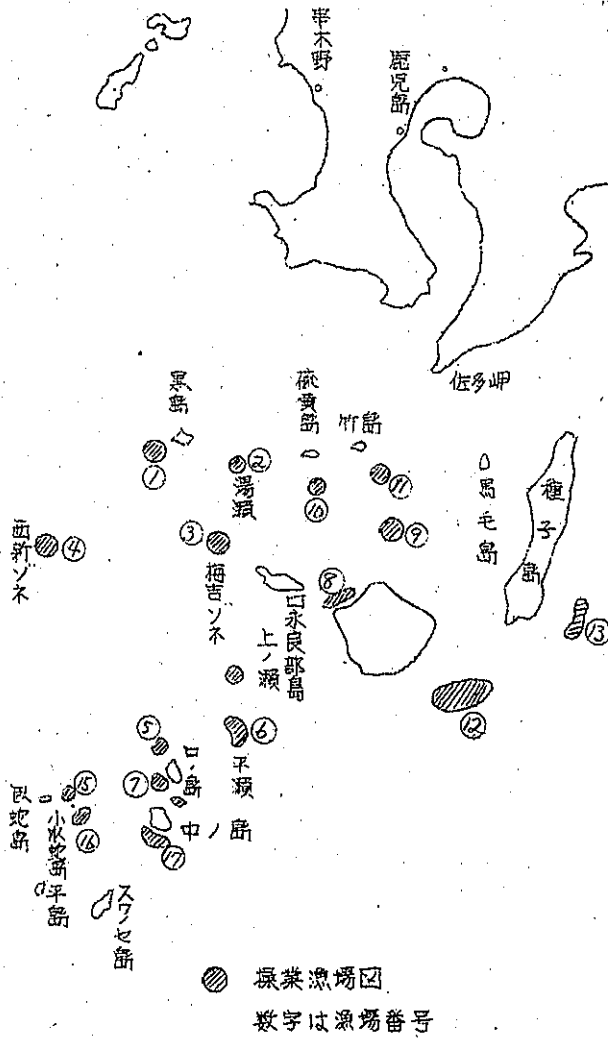
6日 06-00 錨泊のまゝ操業開始。ホ夕餌付よし。08-10 錨網に目受
を付け立釣りに移る。11-00 頃迄ホ夕餌付あるもその后潮流止り餌付な
し。加うるに風波強くなり 12-30 操業ため鹿兒島に向う。

8日 02-40 鹿兒島入港

水場

09-00 鹿兒島発 20-00 串木野入港





定置漁場調査

当所では昭和27年以来毎年管内の定置漁場の海底（水深、形状）調査を実施して来たが本年も薩摩郡鹿島村漁業協同組合の要望により10月5日より7日まで10月5日の4日間に涉って中山、吹切、湯水の三ヶ所を昨年同様の方法で調査し夫々関係者に漁場図を配付した。

フノリ増殖基礎試験

古来、フノリの増殖と云えば投石、磯掃除、岩面搔破及び破碎などが広く行われているが、鹿子着生は自然の力に任じられてすべて肥子の放出盛期に実施しなければならぬ。本県下の主要生産地となっている観列島の各漁業協同組合では、毎年この如く磯掃除を実施